［CASE 01］

リビングに人が集まる家

〈家族構成〉夫34歳、妻27歳、長女２歳、長男0歳　〈入居年月〉2019年8月

「仕事柄、ずっと持ち家に憧れていました」という弊社社員のY.K。二人目の子供を授かったことをきっかけに、家の購入を決意しました。

「それまで家族3人で賃貸の２DKに住んでいたのですが、3人でも手狭だったんです。とはいえ、家はほとんどの人にとって一生に一度の買い物です。立地条件、周辺環境はもちろん、生活のしやすさ、子供の学校のこと、自分たち夫婦が年を取ってからのことなども考えると『理想の家』への条件もどんどん増えていくのですよね。でも、二人目が産まれる、となっていよいよ買う時期だな、と決意が固まったんです」

いざ購入を決意すると、早速、良さそうな物件があるという情報がもたらされた。「話を聞いただけでも、私たち家族の暮らしにもってこいの条件でした」と振り返る。

生活環境、幼稚園・学校までの距離、商業エリアへのアクセスの利便性を重視

「住んでいた賃貸アパートと同じエリアの物件だということがポイントが高かったです。買い物に行くお店や、子供の病院など新たに開拓する必要がない点はやっぱり魅力ですよね。暮らしやすい街ということをすでに体験していましたから。さらに、幼稚園と小学校が近いと分かり、ますます惹かれました。妻とも『小学校までは通学に時間がかかるのは避けたいよね』と話していたので。理想的な物件と巡り合えて本当に良かったです」

譲れない条件を満たす理想の物件と巡り合うまで「待つ」ことの大切さを実感したといいます。

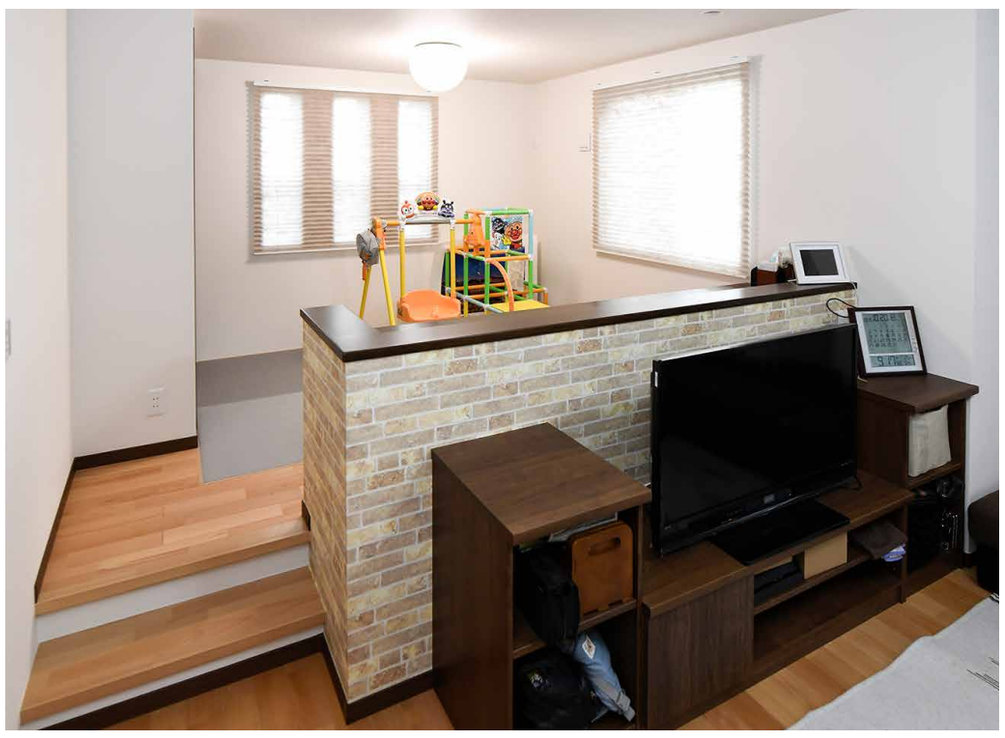
「内装や設備は将来、メンテナンスやリフォームをするタイミングで見直すこともできますし、経年劣化で交換が必要にもなってきます。でも、最寄り駅までの距離は変えられません。周辺環境も時代とともに少しずつ変化していくでしょうが、ガラッと一気には変化しないものですから。家を探すときの優先順位としてとても高いですよね」

内装や設備はこだわったらキリがない部分。優先順位を決めてひとつずつ選択

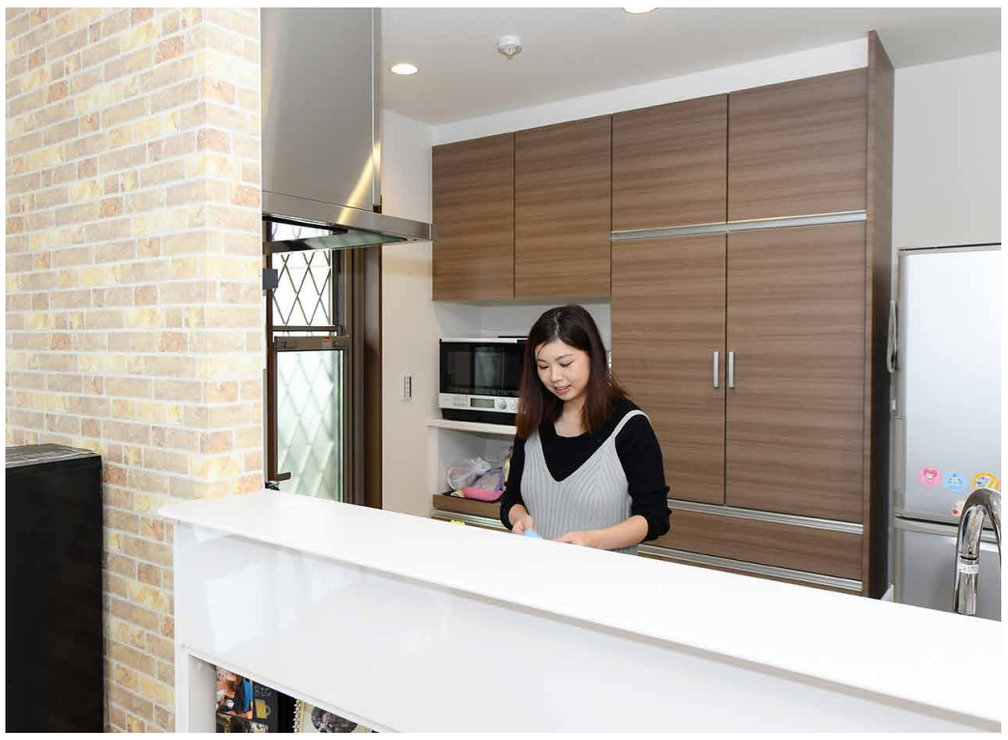
購入を決めてからは「内装や設備をどうするか？」を考えていく段階に入ります。「これまで仕事を通じてお客様のお話をたくさん、伺ってきた経験が本当に役に立ちました」と社員Y。

「お客様の体験やご感想、家を購入した先輩たちから聞いた『コレにしてよかった』ということを参考に選んでいきました。じつは『こだわって選んだのに、そんなに便利じゃなかった』なんていうケースもあったりするんですね。反対に『すごく快適』『すごく便利』というものも多い。実体験は想像や憧れに勝るな、と今回、自分が家を建てて身に沁みました」

とくに満足しているのがリビングから小上がりになっている「ファミリーラウンジ」。今は子供の遊び場として、就学する頃には勉強スペースにする予定です。



ファミリースペース側の間仕切り壁にはカウンター式のデスク付き



リビング、ファミリースペースを見渡せるキッチン

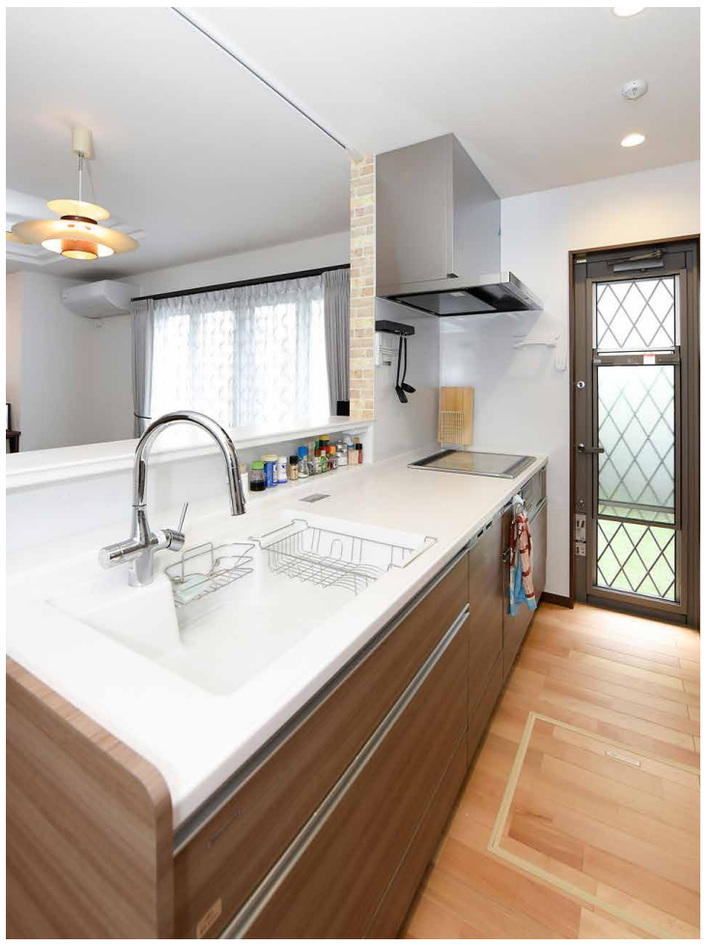
「キッチンから子供のいるところが見えること、というのは妻の希望でもありました。キッチンからリビングとファミリーラウンジを見渡せるし、リビングとファミリースペースの間に間仕切り壁があるので、おもちゃを出しっぱなしにしていても生活の邪魔にならないのもいいですね。先輩から『ファミリーラウンジは作った方がいい』とアドバイスされたんですけれど、本当にその通りでした」

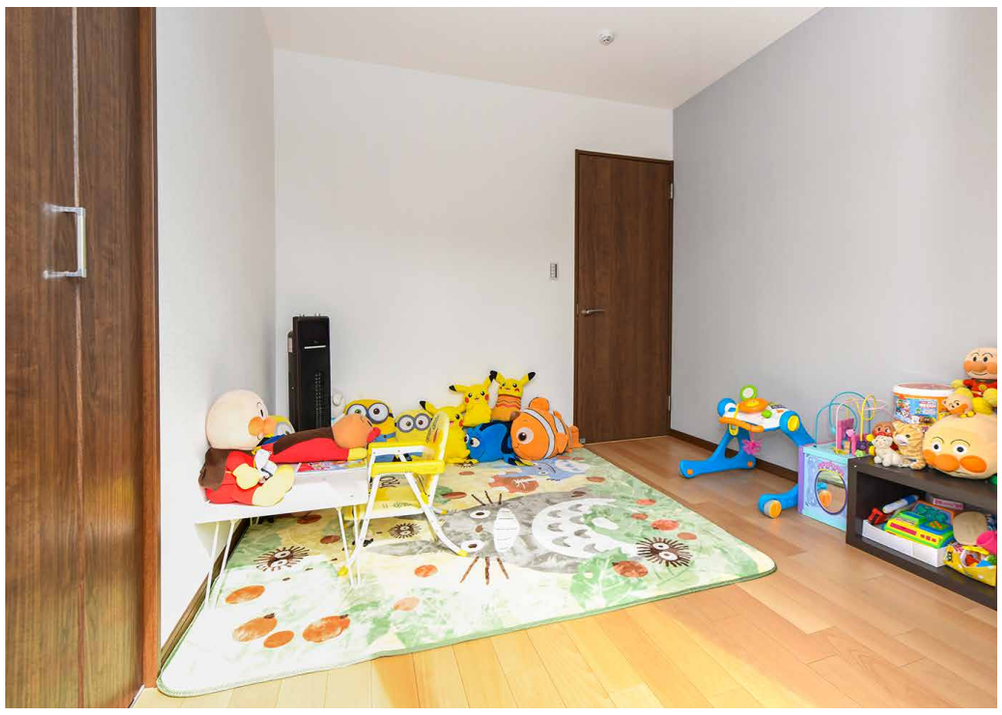
2歳の長女もファミリーラウンジがお気に入り。取材に伺ったときも「みて！」とスタッフの手を取って案内してくれました。

そのほか、階段をリビングインにするなど「リビングに人が集まる家にしたい」という夫婦の希望を実現しました。

とはいえ、「希望や理想をすべて実現できるとは限りません。やはり最終的には予算との相談になるという現実的な課題にも直面しました」と振り返ります。

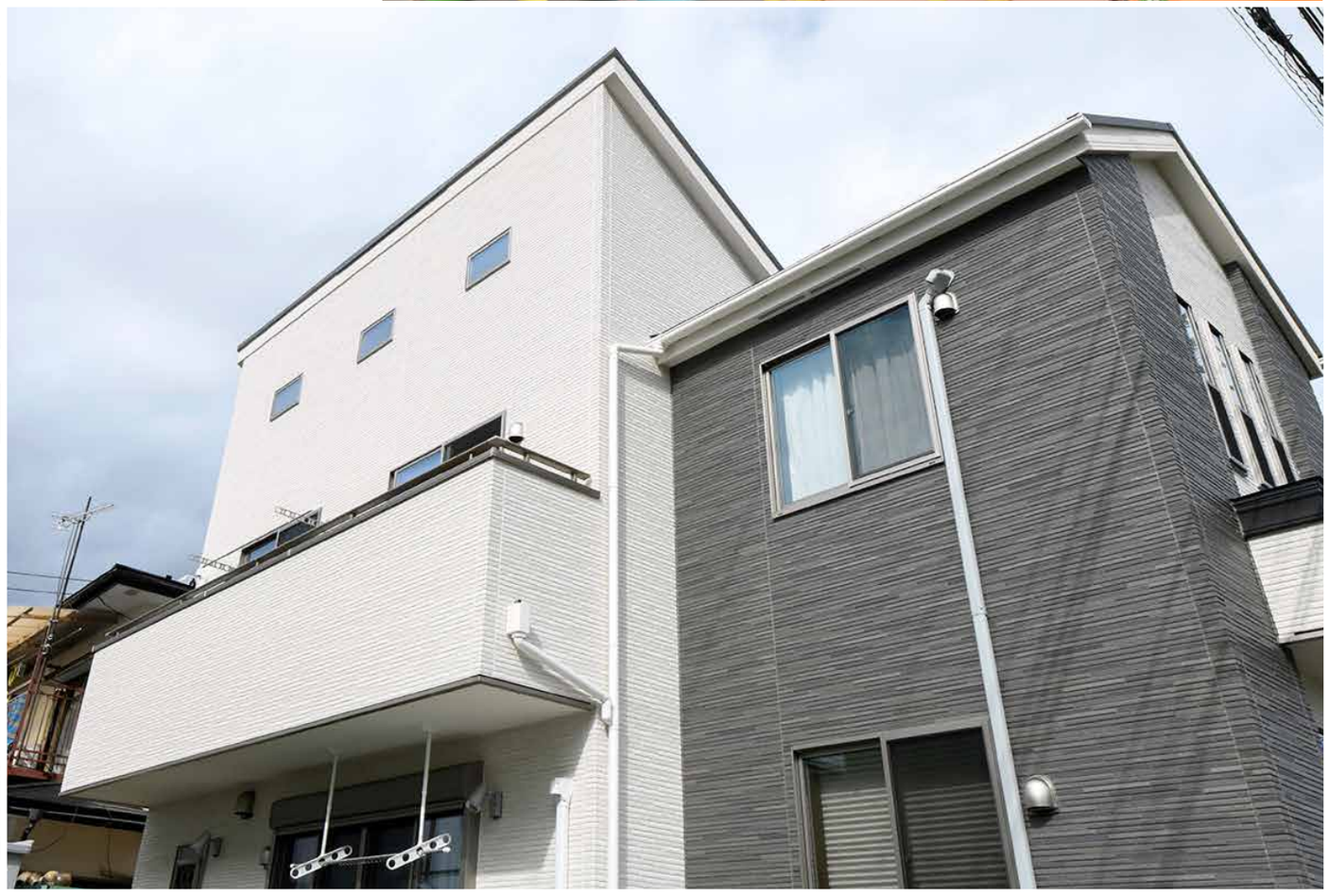
「立地と同じく内装や設備も譲れないこと、大切にしたいことの優先順位を決めることがポイントだと身に沁みました。生活に密着していること、キッチンや浴室、洗面所、トイレ、洗濯スペースなどは優先度を高くしたほうがいいなと思います。そして、最終決定する前に、家を建てて３年以上住んでいる先輩たちにアドバイスしてもらうとさらにいいですね」





娘が家で楽しそうに遊んでいる姿を見るととても嬉しい

家を持ってよかったことは？と尋ねると「娘が家の中で遊べることです」と夫婦そろっての回答が返ってきました。
「以前の住まいが狭かったので、家でほとんど遊べなくて。晴れていれば『公園に遊びに行かなくちゃ』とか、雨の日も『どこかに連れて行かないと』と思っていたのですね。今、娘が家の中で楽しそうに遊んでいるのを見ると嬉しいですし、妻とも『子供が家の中で遊べるって、親にとっても、こんなにありがたいことだったんだね』と話しているんです。長男も産まれたばかりですし、家を購入したことで家族がこれまで以上に幸せになれたら、と願っています」

ちょっとした「後悔」も想定しておくことが大切

一方で、入居から2か月たった今「すでに、コンセント位置は、どうしても100％満足するのが難しいのだな、と実感しています」といいます。
「コンセントの位置と数については、『こうすればよかった』というお話をお客様からもよく伺っていたんです。なので、かなり考えたのですが……。私自身も、実際に引っ越して家具を配置してみると、例えばテレビ本体の配線との兼ね合いで『ここにもコンセントがあればよかったな』なんて気づくのですよね。最近ではUSBタイプの充電器が増えているので、コンセント本体がUSB仕様になっているタイプがあるのですね。我が家も２か所、それにしたのですが、USBタイプをもう少し、増やせば良かったと思っています。こういう小さな後悔は必ず出てくるし、家を作っているときには気づけないこともある、というのは最初からある程度、想定しておくことなんだな、と実感しました」